



は市政府の各部門と連携して「反動刊行物」の取締を実施し、共産主義や帝国主義に関する多くの刊行物を取り締まった。出版物検閲の実施は、国民党に反対する勢力による宣伝の排除や国民党政権統治の強化に役に立っていたといえる。映画統制において上海市党部は中国政権による上海最初の映画審査機関であった戯曲電影審査委員会を設立し、映画審査や映画業者との協力関係の構築に努力していた。しかし、委員会は国民政府側からの支持を欠き、経費不足などの問題が生じたことにより審査工作に大きな困難をもたらし、1929年9月に上海市の電影検査委員会に改組された。電影検査委員会は、戯曲電影審査委員会の活動内容を継承して安定して機能するようになり、2年間に約1000本の国内外映画を審査し、さらに1930年の『不怕死』事件の解決に大きく貢献した。しかし、出版物の検閲と映画審査の共通の特徴として、租界への検閲権の浸透が非常に重要視されていたが、租界側の反発により上海市党部は租界での検閲権の獲得を実現できなかった。

以上の考察から、上海市党部宣伝活動の特徴として以下の5点が指摘できる。第一に、上海市党部は宣伝活動において単に中央宣伝部の指示に従ったのではなく、自主性を十分に発揮していた。第二に、宣伝部長を務めた陳徳徴の宣伝活動に対する影響が看過できなかった。陳徳徴は国民革命時期の反帝国主義や反軍閥の理念に深く影響され、急進的な反帝国主義思想を持っていたため、党外宣伝における反帝国主義宣伝も宣伝活動の重点となった。第三に、上海市党部の宣伝活動は国民党中央の方針と一致しなかった場合が多かった。特に反帝国主義宣伝において、反日運動継続の宣言や修約・廃約問題をめぐる外交部への批判など、中央の政策と大きく乖離した言動が度々あった。第四に、宣伝活動において、区党部・区分部への動員が重要視されていた。宣伝部は市宣伝会議・区宣伝会議の開催や宣伝隊・永久宣伝隊の組織などの手段を通じて、宣伝面における指揮命令システムを構築した。第五に、上海市党部による思想統制において、映画統制がとくに重要視されていた。上海市映画産業の発達などによって、上海市党部は上海市最初の映画審査機関を設立し、それも国民党政権映画統制の端緒となった。

宣伝活動において、最も効果が得られたのは反帝国主義宣伝であった。上海市党部の反日宣伝は反日運動の進行を支え、多くの民衆に日本との経済絶交を納得させ、日本の経済に深刻な打撃を与えた。また、租界教育権回収運動において、宣伝部は教育局と連携して区党部・各社会団体を動員し、大規模な宣伝の展開によって租界当局に譲歩を余儀なくさせた。さらに、『不怕死』事件に対する宣伝は事件の影響力を大きく拡大し、事件の解決に貢献した。これらの事例から見れば、宣伝効果を上げるには、宣伝と行動の一致が極めて重要であったことが分かる。上海市党部の反帝国主義宣伝は実際の反帝国主義運動と同調していたため、宣伝の効果も大きかった。こうした反帝国主義における宣伝と行動の一致は多くの民衆を惹きつけ、国民党の上海での統治と社会基盤の強化に役に立っていたと考えられる。

一方、上海市党部の宣伝工作には問題点も少なくなかった。まず、各区党部の工作報告から見れば、「清党」後における上海市各級党部の再建状況が異なったため、各区の宣伝工作には大きな差が存在した。この影響によって、各区党部管轄区域の国民党宣伝の効果もそれぞれ異なった可能性が高い。また、前述の上海市党部宣伝活動の特徴の一つとして指摘したように、宣伝内容が中央の政策と乖離した場合があった。こうした中央と地方の不統一は、国民党政権の統治や外交にデメリットをもたらした。さらに、宣伝部は出版物や映画の検閲権を租界内まで拡大しようとしたが、結局のところその目的を達成できなかった。つまり、南京国民政府初期における上海市党部宣伝部の上海市に対する思想統制は不完全なものであったといえよう。

国民党左派・共産党との分離によって、南京国民政府初期における上海市党部の宣伝活動は党部が再建されるに伴い展開され、党組織が十分に整備されていなかったものの、陳徳徴の指導の下に国民党政権の上海での統治基盤の強化に役割を果たした。その役割の発揮は市党部の党・政関係における優位や党権の強さによる党の活性化に関わっていたが、それによる自主性は時々中央の政策との乖離を生じた。上海市党部は反帝国主義宣伝を通じて、共通の外敵への討伐によって民衆の団結と国民党への求心力を強化し、その中で国民政府の統治の基盤を作ろうとした。一方、共産党に反対する宣伝は常に存在していたが、それに関する大規模な宣伝運動がほぼ行われていなかった。要するに、この時期における上海市党部の宣伝活動の標的は共産党より帝国主義にあったのである。しかし、周知のように、反帝国主義運動は決して国民党政権訓政時期のテーマではなく、むしろ列強との関係改善を図り、過激な反対運動を嫌がっていた。そのため、1931年以降における民衆運動の弱体化は、南京国民政府初期に市党部によって構築された上海の統治基礎の弱体化を意味するともいえよう。

備考 要旨は、日本語 4,000 字以内又は英語 1,500 ワード以内とする。